

コード No. 28103

**Anti-Human
Gastrin Receptor (OK-524) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : ガストリンは最も重要な胃腸管関連ホルモンであり、ガストリン酸分泌に関与しています。ガストリンとその受容体は多くの消化管がん細胞株で共発現しており、ガストリンはオートクライン的に働く増殖因子であると考えられています。このようにガストリンは消化管がんの発生や治療の研究において重要です。ガストリン受容体(GR, cholecystinin B receptor; CCKBR とも呼ばれています)遺伝子は 447 アミノ酸をコードし 7 つの膜貫通ドメインを有しています。近年、多くの研究で GR がヒト胃に局在していることが示されています。ガストリン-ガストリン受容体システムについては、胃がんの発生における発現や潜在的役割、また *Helicobacter pylori* 感染および炎症との関係などに興味を持たれています。

免疫抗原 : Human Gastrin Receptor の C 端部分合成ペプチド (CTPSIASLSRLSYTTIS)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色に使用可能

使用方法 : ウェスタン・ブロッティングに使用可能
(詳細は下記文献を参照してください)

参考文献 : 1. Ito M, Tanaka S, Maeda M, Takamura A, Tatsugami M, Wada Y, Matsumoto Y, Yoshihara M, Haruma K, Chayama K. Role of the gastrin-gastrin receptor system in the expansive growth of human gastric neoplasms. *Digestion*. 2008;78(2-3):163-70.